

(9) 桑

作物名	栽培型 又は 作型	品種名	植付本数 (本/10a)	栽植 様式	作型模式図													
					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
桑	壮蚕用	一の瀬 改良鳳返 しんいちのせ その他	1,136~ 1,666本	1.5m ~2.2m × 0.4m	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
					①	②	③	発芽	土づくり肥料									
					11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
					①	②	③	発芽	土づくり肥料									

目標収量 (kg/10a)	適正 pH	施肥量 (kg/10a)					成分 合計	堆肥及び 土づくり資材等 の施用例	備考
		成分	基肥	追肥					
				1 回	2 回	3 回			
繭生産量 100kg	6.0 ~ 6.5	N		12	12	6	30	<ul style="list-style-type: none"> 稲わら牛ふん堆肥を2,000kg施用する。 【この場合、左の施肥から窒素：2.0kg、りん酸：5.8kg、加里：9.6kgを差し引く】 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 用途別桑園2年目以上で黒ボク土を基準とした。 2. 追肥は桑専用肥料又は尿素を使用する。 3. 芽枯病等の発生しやすい地域では7月下旬までに追肥を終わらせる。
		P ₂ O ₅		5	5	3	13		
新梢量 2,000kg (年間)		K ₂ O		5	5	2	12	<ul style="list-style-type: none"> 苦土石灰を160kg施用する。 ようりんを30kg施用する。 	
		N		24			24		
		P ₂ O ₅		10			10		
		K ₂ O		10			10		

(10) 茶

作物名	栽培型 又は 作型	品種名	栽植 様式	作型模式図													
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
茶	幼木	ヤブキタ	12~15×2~3cm 22,000~41,000本	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
				○	①	②	③										
	成木	ヤブキタ	180×30cm 1,850本	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
①				②	③	④											

目標収量 (kg/10a)	適正 pH	施肥量 (kg/10a)					成分 合計	堆肥及び 土づくり資材等 の施用例	備考
		成分	基肥	追肥					
				1 回	2 回	3 回			
	5.0 ~ 5.5	N		2	2	5	9	<ul style="list-style-type: none"> オガクズ牛ふん堆肥を2,000kg施用する。 苦土炭カルを80kg施用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 堆肥は定植前に植溝に施用する。 2. 樹勢に応じて追肥を増加する。 3. 幼木園の施肥割合（成木園との割合） 1年生 20% 2 " 50% 3 " 60% 4 " 70% 5 " 80% 6 " 90%
		P ₂ O ₅		2		5	5		
600		K ₂ O				4	6	<ul style="list-style-type: none"> オガクズ牛ふん堆肥を3,000kg施用する。 【この場合、左の施肥から窒素：2.1kg、りん酸：12.0kg、加里：24.6kgを差し引く】 苦土炭カルを100kg施用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 2. 施肥量の多い場合の春肥は、4月上旬の芽出し肥とともに2回に分けて施用する。
		N		15	8	8	15		
		P ₂ O ₅		8	5	5	8		
		K ₂ O		10	5	5	10		